

第二、階級意識にめざめてゐること。

第三、殆ど幹部を除く人々に重點をおいて組織してゐること。

第四、非常に眞面目な人々が多いこと。
等の理由により、争議前と異つた空氣に包まれており、如何なる迫害にも打ち勝つだけの力を有するものである事を證明してゐる。

ハ、財政

争議後の痛手は、極度に財政的破綻を來した。此の状態は昨年三月頃迄續いてゐた。
昨年の四月頃より次第に會員の増加につれ、財政的方面にもいさゝか苦境を脱し、特に昨年八月久留會長を迎えてより頗る内容充實して今日では、月々五百圓乃至六百圓の收入を擧げて完全に財政的に獨立するに至つた。

以上を以て一般的報告を終り、以下便讀上各部に分ちて御報告しやう。

ニ、各部報告

A、組織宣傳

従來の機械的本部中心主義の組織を改め、各船に適合し、しかも活動に便利な方法に組織して來た。
特に本年一月迄に完全に近海支部を獨立組織した事は、重要な功績である。
又、各船に船内集會を催ふし、名士を同道し、或は役員を總動員して、宣傳に努めてゐる。此の二ヶ

年間に集會數百回に及び、充分の効果を擧げてゐることは諸君の知るところである。

B、教育出版

争議を一轉機として、階級的教育に力を傾注し、主點を、「プロレット、カルト」に置いたことは誠に成功であつたと思ふ。

特に争議直後、いち早く機關紙「同盟」を通じ、陳容立て直しを宣言し、日本船員新聞を傍系として「裏切り者」排撃運動を続け、更に、「本部ニュース」を發行して、本部と各船との連絡を一層緊密にして來た如き、争議後一ヶ年間の此の方面の努力は偉大なものであつた。

昨年久留會長を迎ふるに及び、日本船員新聞の廢刊あり、同時に、横濱支部より、「ニュース」を毎月二回發行し、本部よりは、依然として機關紙「同盟」を毎月一回續けて刊行して來た。

尙ほ、特に特記すべきは、折によれ、必要に應じ、パンフレット、リーフレット等を發行して、組合員諸君の向ふべき正しき方向を指示して來た。

就中

- 1、自治會は如何にして闘ひ取るべきか、
 - 2、同志と戦線の統一、
 - 3、郵司同友會今後の行動方針、
- 等は最もよく諸君の味讀せられたことと思ふ。